



知っていますか？

血液型のしくみ

中央検査技術科

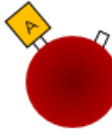






令和5年10月15日発

はじめにちょっと豆知識

ABO 血液型は 1900 年にオーストラリアのラントシュタイナーという人物によって発見されました。それから 100 年以上にわたって重要な血液型として使われているのです。

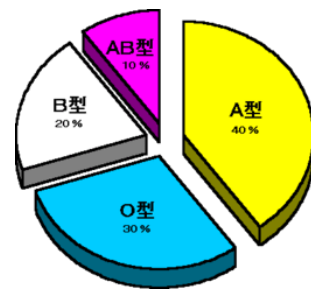
ABO 血液型は何で決まっているの？

赤血球についている抗原の違いによって、血液型が決まっています。反対に、自身が持っていない抗原に対する抗体を持っているという特徴もあります。(下図参照) 血液型検査はこの特徴をもとに、抗原(オモチ検査)と抗体(ウラ検査)を調べて判定しています。

	A 型	B 型	O 型	AB 型
赤血球 (抗原)	 A 抗原	 B 抗原	 なし	 A 抗原 B 抗原
血清 (抗体)	 抗 B	 抗 A	 抗 A 抗 B	なし

ABO 血液型は 4 種類だけじゃない!?

現在の日本人の血液型の割合は
およそ、**A** : 40% **O** : 30% **B** : 20% **AB** : 10%です。



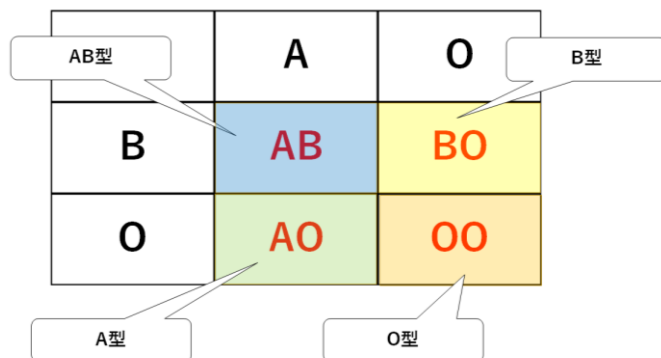
実は・・・細かく分けると、**6 種類**になります！

その 6 種類は、AA 型、AO 型、BB 型、BO 型、OO 型、AB 型となります。これには遺伝子が大きく関わっています。

両親の遺伝子を半分ずつ引き継いで私たちが存在していますが、血液型も同様に半分ずつ遺伝子を引き継ぎます。

例えば、父親が AO 型、母親が BO 型の場合
子供の血液型は、
右図のように全ての血液型になる可能性があるのです。

自身の血液型もこのようにして考えてみると
面白いかもしれませんよ？



**血液型を調べたことがない方、
お子さんの血液型がまだわかっていない方、この機会に自分の血液型を調べてみてはいかがでしょうか？**